

お客様各位

2017年6月

アジレント・テクノロジー株式会社
カラム・消耗品営業部

Agilent社製 G4513-80229 0.5ul シリンジ、G4513-80215 1ul シリンジの取扱いについて

平素は格別のお引立てを賜り、誠に有り難うございます。

Agilent社製0.5ulシリンジ、1ulシリンジの使用方法につきまして、下記のようにご説明いたします。

【現在の状況】

G4513-80229 0.5ulシリンジ、G4513-80215 1ulシリンジを、オートインジェクタを使用して注入した場合に、設定値の倍の容量を注入してしまう。

【使用上のご注意について】

G4513-80229 0.5ulシリンジ、G4513-80215 1ulシリンジは、図1のようにプランジャインニードル構造になっており、プランジャの針がニードルの先端付近まで到達する仕組みになっています。これは、極微量サンプルを正確にサンプリングするために用いられる構造です。

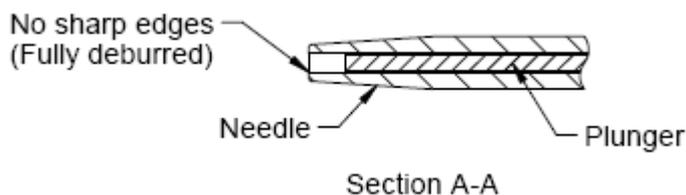


図1 プランジャインニードル構造

これらのシリンジでは、非常に少ない容量を正確にサンプリングするために、図2のように、シリンジボディ(注射筒)の半分までしか目盛りの記載がありません。



↑ここまででフルスケール

図2 G4513-80229 0.5ulシリンジ、G4513-80215 1ulシリンジ構造



Agilent Technologies

アジレント製GC用オートインジェクタは、シリンジの容量にかかわらず、図3のようにシリンジボディ全体に目盛りが書かれているオートサンプリング用シリンジを想定して設計されております。そのため、図2のシリンジを0.5ulシリンジと設定すると、オートインジェクタは図3のシリンジの目盛りを想定してプランジャを引き上げてしまうために、設定値より多い量を注入してしまうことが発生しました。



図3 一般的なオートサンプリングシリンジ

↑ここまででフルスケール

以上のような理由から、G4513-80229 0.5ulシリンジ、G4513-80215 1ulシリンジをオートインジェクタで使用する場合には、シリンジの設定を下記のように変更していただけますようお願いいたします。

G4513-80229 0.5ulシリンジの場合 → 設定:1ulシリンジ

G4513-80215 1ulシリンジの場合 → 設定:2ulシリンジ

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

以上



Agilent Technologies